



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では、従前より中間株主通信をお届けしておりましたが、ESG経営を重要テーマに掲げ、地球環境等に配慮する観点から、第93期より当社ウェブサイトに掲載することとし、紙面の一斉郵送を取りやめさせていただきます。

これにより約2万部、約512kgの用紙(第92期中間株主通信実績をもとに試算)の節約が可能となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解いただきますとともに、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 清水 洋史

全体概況について



(注1) 第92期は、在外連結子会社19社の決算期変更をしたことに伴い、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月を連結した変則決算となっております。
 (注2) 第92期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第92期第2四半期に係る各数値については、その会計処理の確定内容を反映させております。

当第2四半期連結累計期間は、世界経済が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けております。

我が国経済は、輸出が回復基調で持ち直しの傾向ですが、インバウンド需要は入国制限の継続で引き続き低迷しております。個人消費は緊急事態宣言の解除後、消費者意識に自粛ムードの残存はあるものの、外出等の自粛緩和などを背景にして穏やかな景気の回復をみせております。米国経済は金融緩和等の政策により4月を底に回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、一部地域の活動規制などにより緩やかな回復にとどまっております。欧州は、雇用・所得環境の悪化や新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響で特に個人消費が落ち込んでおります。中国は世界に先駆けて経済活動を再開し、輸出の増加もあり景気回復傾向が持続しておりますが、雇用不安等から個人消費の回復は比較的緩やかとなっております。

そのような状況の中、当社グループにおきましても国内・海外市場で影響が出ております。当第2四半期連結累計期間における経営成績は、国内市場ではインバウンド需要の減少の継続、海外市場では、欧州での感染再拡大による市場の低迷やブラジルでの小売店の閉鎖などにより、大きく影響を受けております。

当連結会計年度は、中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」(2017-2020)の最終年度にあたります。当中期経営計画期間内において、コアコンピタンスへの資源投入やノンコアビジネスの売却等、選択と集中を着実に進めております。

新型コロナウイルス感染症の影響で国内・海外で景気低迷の影響を大きく受けておりますが、「コアコンピタンスの強化」の施策において2019年に取得したBlommer Chocolate Companyをはじめとしたグループ会社の収益力の向上を図り、今後の景気回復局面での需要を取り込めるよう、努めてまいります。また、非中核会社のEXITも積極的に進めており、筋肉質な経営を目指してまいります。

ガバナンス面では、2015年10月のグループ本社制移行後グローバル経営のインフラ強化も進めてまいりましたが、前連結会計年度では念願であった海外グループ会社の決算期統一を完了しました。当第2四半期連結累計期間では、統一されたマネジメントサイクルにより、グループ一体となって経営していくための基盤の強化が着実に進んでおります。

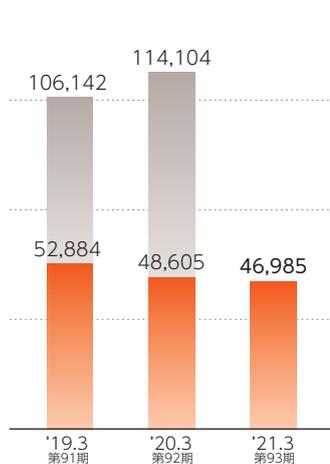
以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、ご覧のとおりとなりました。

事業別概況について

植物性油脂事業

売上高

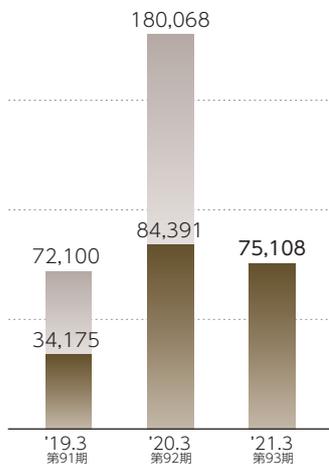
■ 第2四半期(累計) ■ 通期
(百万円)



業務用チョコレート事業

売上高

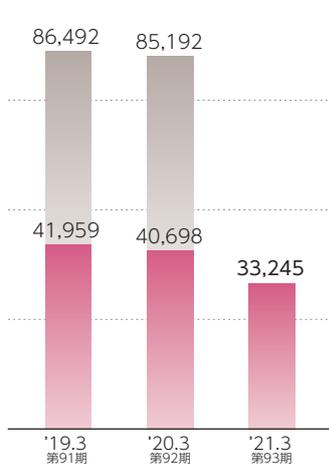
■ 第2四半期(累計) ■ 通期
(百万円)



乳化・発酵素材事業

売上高

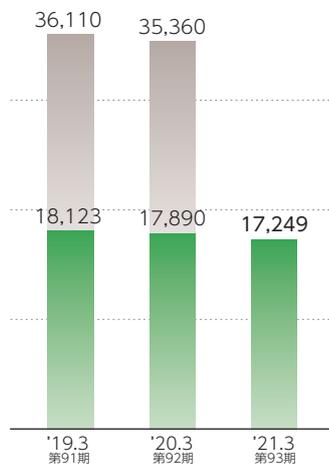
■ 第2四半期(累計) ■ 通期
(百万円)



大豆加工素材事業

売上高

■ 第2四半期(累計) ■ 通期
(百万円)



(注) 第92期は、在外連結子会社19社の決算期変更をしたことに伴い、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月を連結した変則決算となっております。また、報告セグメントの変更も行ってあり、第91期の数値に関しては、変更後の算定方法及び変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。

植物性油脂事業

連結売上高構成比

27.2%

売上高は、国内市場では、外出自粛により家庭用菓子関連の販売が増加しましたが、外食市場向けの販売の減少により、微減となりました。海外市場では、米州において原料相場影響で増収となったものの、その他のエリアでは新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場の停滞で減収となりました。利益面は、海外市場で欧州の販売の低迷や米州の原料コスト増加による収益性低下により、減益となりました。

業務用チョコレート事業

連結売上高構成比

43.5%

売上高は、国内市場では、訪日外国人旅行者の大幅な減少に伴い、インバウンド需要が急速に減少し、減収となりました。海外市場では、中国において家庭菓子用チョコレートの販売拡大があったものの、米州やブラジルの都市活動の制限施策による市場の冷え込みの影響が大きく、減収となりました。利益面では、国内・海外ともに販売の減少による利益の減少はあるものの、Blommer Chocolate Companyの先物評価益の計上があったことにより、増益となりました。

乳化・発酵素材事業

連結売上高構成比

19.3%

売上高は、国内市場では、外食市場向けクリームやパン用マーガリンの販売減少、国内連結子会社の連結除外に伴う売上高減少の影響があり、減収となりました。海外市場では、中国において付加価値の高いマーガリンの販売割合が上昇したものの、アジアにおいて菓子原料となる粉乳調製品等の販売が減少し、減収となりました。利益面では、国内、海外ともに数量の減少が影響し、大幅な減益となりました。

大豆加工素材事業

連結売上高構成比

10.0%

売上高は、国内市場では千葉工場新工場稼働開始した大豆たん白素材の販売が好調となりましたが、豆乳事業の事業整理に伴う売上高の減少が大きく、減収となりました。海外市場では、前年度中国のたん白食品子会社の売却の影響があり、減収となりました。利益面では、国内市場は前年並みに推移し、海外市場は欧州における機能剤事業の新規拠点建設での経費増加もあり、若干の減益となりました。



環境保全のため、サトウキビの搾りかす(非木材)紙を使用しています。

会社概要 (2020年9月30日現在)

| | |
|----------------|-----------------|
| 設立 | 1950年(昭和25年)10月 |
| 資本金 | 13,208百万円 |
| 全グループ従業員数 | 5,714名 |
| 不二製油グループ本社従業員数 | 164名 |

役員 (2020年9月30日現在)

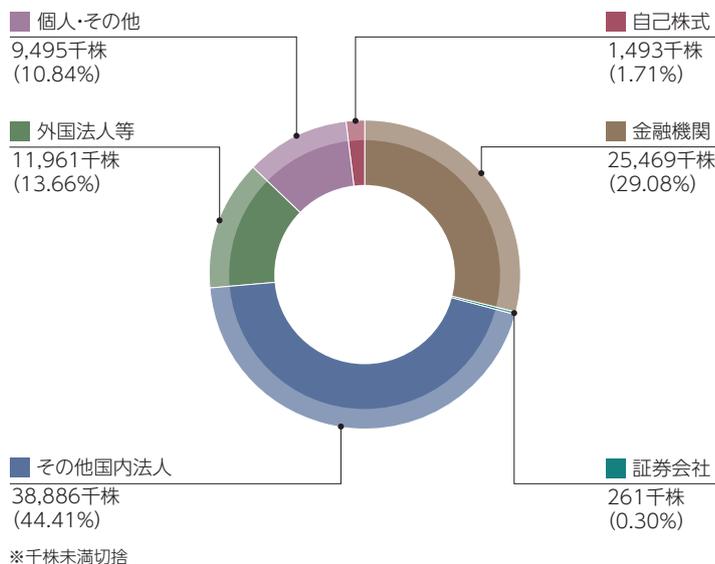
| | |
|-----------|------|
| 代表取締役社長 | 清水洋史 |
| 取締役上席執行役員 | 酒井幹夫 |
| 取締役上席執行役員 | 松本智樹 |
| 取締役上席執行役員 | 大森達司 |
| 取締役上席執行役員 | 門田隆司 |
| 取締役上席執行役員 | 高杉豪 |
| 社外取締役 | 三品和広 |
| 社外取締役 | 上野祐子 |
| 社外取締役 | 西秀訓 |
| 常勤監査役 | 澁谷信彦 |
| 常勤監査役 | 角谷武彦 |
| 社外監査役 | 魚住隆太 |
| 社外監査役 | 池田裕彦 |

株式に関するご案内

下記当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.fujioilholdings.com/ir/stock/>



所有者別株式分布状況 (2020年9月30日現在)



株主優待

1. 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様

2. 優待品発送時期

毎年11月上旬頃

3. 優待品保管期限

転居や不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、**2021年1月末日まで**当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へお申し出ください。なお、上記保管期限経過後の再発送はいたしかねますので、ご了承ください。

4. お問い合わせ先

当社株主優待お問い合わせ窓口

フリーダイヤル 0120-651-563

受付時間 10:00~17:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

5. 優待品内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を**毎年11月上旬頃**にお届けいたします。

| ご所有株式数 | 優待品 |
|----------|------------------------|
| 100株以上 | 不二製油グループ製品詰合せ 1,500円相当 |
| 1,000株以上 | 不二製油グループ製品詰合せ 3,000円相当 |
| 5,000株以上 | 不二製油グループ製品詰合せ 4,000円相当 |



内容例：4,000円相当 (2020年11月発送実績)



環境保全のため、サトウキビの搾りかす(非木材)紙を使用しています。